

歴史を学び、まちの元気を 作り出す



1月31日 歴史を活かしたまちづくり
‘まちの元気をつくる集い’

Kouhou

寿都

-SUTTU-

3

2015 March
No. 644

「まちの元気をつくる集い」 を開催しました!

ニシン漁が全盛期だった時代の建造物を活用した地域振興を考えることを目的とした「歴史を活かしたまちづくり“まちの元気をつくる集い”」を1月31日に寿都町総合文化センター大ホールにおいて開催し、124名の参加がありました。集いでは、第1部のシンポジウムと第2部を交流会とした構成で行いました。

第1部「シンポジウム」

はじめに、主催者である片岡春雄町長が「鯉御殿でお馴染みの“橋本家”、道指定有形文化財“佐藤家”を地域の宝とし、みんなで守り、活用していきたい。そして、この集いが歴史を活かしたまちづくりのきっかけになり、発展していくことを願う」とあいさつし始まりました。

基調講演では、NPO法人歴史的地域資産研究機構代表理事の角幸博（かどゆきひろ）氏が「どんなに良い歴史的建造物であっても地域の方が愛着を持たないと活用につながらない。歴史的建造物をまちづくりに活かすためには、“意識の醸成”“実践的な協働体制”“建造物の保全・活用”“まちづくりへの展開”が重要である」と話されました。

調査報告では、北海道職業能力開発大学校特任教授の駒木定正氏が、「佐藤家は、明治初期頃の建築であり、伝統的な書院造の格式を保っている。また、橋本家も、佐藤家と同時期に建てられ、同様の建築様式となっている。建物から時代背景など様々なことが判明してきたが、引き続き調査を進め、解明していきたい」と報告がありました。

事例報告では、江差町建設水道課都市計画係の浦野宏美氏が、「昭和60年に復元した北前船が江差港へ入港してから、町における歴史を活かしたまちづくりの機運が盛り上がった。“こんな町に僕は住みたい”をスローガンに、町並みの整備や百人の語り部、花嫁行列、ガイド養成から健康増進事業と協働したガイドウォーク事業など様々なことを行っている。今後も町の資源を大切に持続可能なまちづくりに取り組みたい」と話されました。

また、パネルディスカッションでは、角氏をコーディネーターとして、駒木氏、浦野氏、道教育庁文化財・博物館課の上出秀信氏、同課の田才雅彦氏、



パネルディスカッションの様子

「寿都五十話」の著者である山本竜也氏をパネラーとし、歴史的建造物の重要性やそれを活用したまちづくりに対する意見交換が行われました。



片岡町長のあいさつの様子

第2部「交流会」

交流会では、“風のごはんや”や札幌市立大学の活動紹介、北海道職業能力開発大学校学生による佐藤家の調査報告、交流会の参加者を対象とし「歴史的地域資産活用に望むこと」と題したアンケート調査が行われました。

まちづくりに関連して、町民有志による活動紹介では、風のごはんやを運営し



佐藤家、橋本家の所蔵品など寿都のお宝を展示

ている「未来の里—寿の都」の代表者である樋谷和幸氏が、「孤立しがちな高齢者と町民をつなぐ場を創るという町と札幌市立大学の構想に賛同し、食を核とした町民の交流ができるレストランを立ち上げた。様々な団体の協力を得て、もうすぐ3年になるが、異業種との交流や世代を超えた交流でき、若年者も高齢者も生き生きとした楽しい話題が飛び交う場所になってきたと感じている。単なるレストランではなく、認知度を高めさらなる交流ができる場としていきたい」と話がありました。

また、札幌市立大学デザイン学部の上田裕文講師が、「学生とともに寿都町の風景やある日の一コマなどの写真を撮り続けてきた。その活動から“寿都写真倶楽部”が発足したことを大変うれしく思っている。これからも寿都写真倶楽部とともに寿都町の宝物探しを続けていきたい」と、寿都町での活動について話されました。

アンケート調査では、町外の参加者は、歴史的資産に観光振興や経済効果を望む、町内の参加者は、文化・歴史貢献や地域住民施設を望んでいるという大変興味深い結果となりました。



アンケート回答の様子

最後に、早瀬良樹教育長から、「歴史的地域資産研究機構を始めとする多くの方々のご協力をいただき集いを開催することができた。そして、多くの町民の参加をいただいたことに感謝している。これからも寿都らしい歴史と文化を活かしたまちづくりができるよう進めていきたい」とあいさつし閉会しました。



みんなが、学びの主人公

第2回 ブックフェスティバル終了

1月31日に開催したブックフェスティバルでは、80名の参加がありました。

大型絵本やしかけ絵本を食い入るように見ている子どもたちの姿がとても印象的でした。



また、風の子サークルのお母さんたちによるダイナミックな人形劇・紙芝居が披露され、会場は大いに盛り上がりました。

絵本の読み聞かせは、親子にとって大切なコミュニケーションの一つであり、言葉や物事への関心、感性や知的好奇心を育てる、とても良い教材です。

総合文化センター図書室には、たくさんの絵本があります。ぜひ、日常の中に絵本の読み聞かせを取り入れて下さい。

元気いっぱい☆ ちびリンピック終了

ちびっ子たちのミニ運動会、第11回ちびリンピックを2月8日に総合文化センターホールで開催しました。0歳児からおじいちゃん、おばあちゃん、ボランティアを合わせ総勢121名が参加しました。絵本の読み聞かせ・親子で一緒にできる楽しい手遊びからスタートし、ハイハイ・よちよちレースやおっかけ玉入れなどを行い、会場は子どもたちの笑い声と保護者の笑顔であふれていました。

会場を元気よく動き回った子どもたちは、疲れた様子もなく、閉会式では寿都ライオンズクラブからご提供いただいた参加賞を笑顔で受け取っていました。季節柄、体を動かして思い切り遊ぶ機会が少ない中、子どもたちはたくさんの友達と楽しく運動できた1日になったようです。

今年も寿都ライオンズクラブ、寿都高校や地域からのボランティアと多くの方々にご協力いただき、無事終了することができました。誠にありがとうございました。



楽しみながらレベルアップ！ ～夜間スキー教室の終了～

1月から2月にかけて実施した、夜間スキー教室の全日程が終了しました。

小学校低学年を対象とした初心者スキー教室には13

名が参加し、最終日には参加者全員が大人の補助なしでロープトウに乗り、1人で滑りおろすことができるまでに上達しました。

小学生夜間教室は46名がレベルアップを目指して参加しました。上達も早く、滑ることを楽しむ子どもたちの姿が多く見られました。

中学生以上を対象とした一般教室では、16名が参加し、中にはスキー検定合格を目指してスキルアップに励む方もいました。

教室期間中、スキー場は大にぎわいで、様々な年代の方の交流の場でもあったようです。今年も親切で熱心なご指導をいただいた寿都スキー連盟の皆さんに感謝します。

今年のスキーシーズンもあとわずかとなりましたが、最後まで、ウィンタースポーツを満喫して下さい。



図書室からの お知らせ

図書室に新刊が入りました。今回は、料理本や育児本などの専門書です。

また、これからの季節は卒業・入学シーズンに合わせた特別展示を行っています。ぜひ、図書室に足をお運びください。



＜☆DVDも入りました☆＞

- ・妖怪ウォッチ DVD-BOX (5枚組)
- ・アナと雪の女王
- ・ノantan まいごはだあ〜れ? など

※上記は一部です。

DVDは、1人1日1本までで、図書室内での鑑賞となります。ご了承ください。

第5回おやこ教室の開催報告と第6回おやこ教室のご案内

1月28日に寿都町子どもふれあいセンターにおいて、第5回おやこ教室「外遊び・自然体験」を13組の親子の参加を得て開催しました。

黒松内町の「ぶなの森自然学校」の方を講師に、幼児期の自然体験や親子で楽しむ冬の外遊びについて学びました。

幼児期に自然に触れる経験をたくさんすることは、将来にわたって、子どもの心身の成長に大きな影響を与えます。

今回は、身近な場所でもできる「冬の外遊び」ということで、子どもふれあいセンター前の広場で、雪のタワー作りなどの雪遊びを行いました。

雪のタワー作りでは、身近にある洗面器に雪を詰めて固めたものを次々と積み上げて親子でたくさんの雪のかたまりでタワーを作っていました。

当日は、後半に悪天候となり、教室を早めに切り上げましたが、悪天候も含め、自然に触れるという体験を実践しました。自然豊かな寿都に住んでいるので、これからも親子でたくさん外に出て遊んで下さい。



第6回おやこ教室「おやこの楽しい“リズム・カラダ遊び”」参加者募集

親と子のからだ遊びは、お子さんの心と身体の成長を促し、親子の絆を深めるコミュニケーションの一つです。お子さんと一緒に遊びながら、遊びのヒントを見つけませんか。町内在住のシンガーソングライター「のな」さんも音楽で盛り上げてくれます。ぜひ、皆さんご参加下さい。

- ◆日 時：3月18日(水)
午前10時30分～午前11時30分
- ◆場 所：寿都町子どもふれあいセンター
- ◆問い合わせ先：町民課健康づくり係
- ◆そ の 他：事前の申し込みは必要ありません。

平成27年度ボディチェン参加者募集!

平成27年度のボディチェンが4月からスタートします。今年も講師の運動と軽スポーツを行います。講師の運動では様々な音楽をかけながら身体を動かし、減量に効果的な有酸素運動を行います。軽スポーツでは大人のラジオ体操と、柔らかいボールでミニバレーを行います。

最近、体重やおなか周りが気になっている方、運動をしたいけれど1人では続けられないと思っている方は一緒に運動を始めませんか。

近所の方とお誘い合わせの上、ぜひ、ご参加ください。

また、見学は、いつでもできます。お気軽にご連絡ください。



今年度開催の様子

- ◆期 間：4月14日(火)～11月25日(水)
- ◆曜 日：火、水曜日(原則週1回開催)
- ◆時 間：午後6時45分～午後8時30分
※初回のみ午後6時30分集合
- ◆参加費：1か月 500円
- ◆場 所：総合文化センター、(仮称)寿都町総合体育館
- ◆講 師：トレーニングパーク手音(たね)
山本 敏未氏

※初回から参加を希望する方は、4月3日(金)までに、町民課健康づくり係までお申し込みください。

託児がありますので、お子さん連れのお母さんもお待ちしております。小学生ぐらいのお子さんは一緒に楽しめます。

健康に暮らせる町づくりに向けて②

平成26年9月1日に第1回、11月28日に第2回と、健康や寿都の未来を考える対話イベントを北海道大学と協力し開催しました。

第1回は「私の健康、寿都の健康～みなさんで考えましょう」、第2回は「人口減少、高齢化でも人が孤立しない優しい町を考える」というテーマで、それぞれ約30名の参加がありました。自分自身の健康状態の過去、現在、そして将来の不安、孤立しないための

つながりの作り方や行政への要望など、いずれの会でも寿都町のこれからの考える重要な意見が活発に交わされました。

今後も開催していく予定ですので、皆様ぜひ、ご参加ください。



対話イベントの様子

みんなの診療所 No.90

災害時の診療所での対応方法 ～災害時対応行動方針の作成～

今月11日で東日本大震災から早4年が経過します。特にこの震災以降、国をあげて災害時の対応方法を定めた行動方針の整備が進んでいます。

今回は、当診療所における災害対策の取り組みについてお知らせします。

寿都町で暮らす皆さんの安全・安心のため、災害時においても診療を継続できるように、約1年間検討を重ね、「寿都診療所版災害時対応行動方針」を作成しました。

この災害時対応行動方針は、平時から災害時を想定した準備をすることで、いざという時に全職員が安全に効率よく行動できるようにすることが目的です。

内容は、災害時の職員の行動基準や外来・入院患者への対応などが記載されているほか、災害時に必要な物品（救急用カルテや案内表示など）を定めています。一度作成して完了ということではなく、常時見直しを行い、いつでも内容が確認できるように各部署に配置し、災害発生に備えています。これらは、診療所内だけの取り組みにとどめず、町内のもう一つの医療機関である祁答院医院と岩内・寿都地方消防組合消防署寿都支署との勉強会で協議し、情報の共有と連携強化に努めています。

また、行動方針の完成後に災害シミュレーションを行い、災害時連携に不可欠な院外薬局にも参加をいただき、より実践に近い状況で対応方法の共有を図りました。



平成26年9月18日に行った
災害シミュレーションの様子

これまで、毎年実施している避難訓練とあわせて災害シミュレーションも定期的の実施していきます。

非常持ち出し品 + お薬手帳 を準備しましょう



災害はいつ起きるか分かりません。非常持ち出し品を準備するとともに、いつも飲んでいる薬が分かるように、常にお薬手帳を持ち歩きましょう。

● 退任医師挨拶 ●



佐治 朝子 医師

半年間という短い期間でしたが、皆様に支えられ充実した時間を過ごすことができました。何から何まで本当にありがとうございました。

この経験をこれからに生かせるよう精一杯励んでまいります。

また、ぜひ寿都に遊びに来たいと思っていますので、その際はどうぞよろしくお願いいたします。(次回はぜひ、夏に!)

寿都の皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈りしております。

半年間の研修を終えられた佐治先生。これからのご活躍を期待しています。

なお、家庭医療科・中川久理子医師は、産前産後休暇のため3月17日（火）から不在となります。

また、4月から二人の後任として今江章宏医師が、着任し診療します。

はしご酒ラリー

2月14日、毎年恒例となった寿都商工会青年部主催のはしご酒ラリーが開催されました。

家族や友人、職場の仲間などで約160名が参加し、どの店も終始和やかな雰囲気、参加者はお酒と会話を楽しんでいる様子でした。



寿都のお鍋味くらべ!! 2015

2月7日、14日に道の駅みなとま〜れ寿都において「漁村伝統文化・食文化の伝承機会の提供」として寿都の海を豊かにする会寿都支部の主催で、あんこう鍋・たら鍋・かじか鍋・ごっこ鍋の調理実演、試食提供が行われました。

開催にあたって主催者から「寿都の食文化である浜鍋の作り方を紹介し、地元で獲れた魚を食べてほしい。」と開催の趣旨について説明があった後、来場者に「簡単あったか漁師風まかない鍋」と題したレシピが配られ、作り方について説明がありました。

その後、参加者に鍋が提供され、「寿都産の魚を使った鍋は、おいしい。」といった感想が聞かれました。

鍋を食している最中、魚のさばき方の実演が行われました。実演では「魚の中骨を断つ時に力があるため、さばく作業はお店の方など、男性にいただいた方がよい。」と話していました。



魚のさばき方実演の様子

ありがとう! 除雪ボランティア

一人暮らしの高齢者世帯を対象に様々な団体の協力のもと、除雪ボランティアの活動が行われました。



建設協会及び技能士会有志の皆さん

1月と2月の下旬、寿都建設協会及び寿都技能士会の有志の方が、シャベルやスノードンプを手に除雪作業を行いました。

また、2月中旬には、寿都高校生徒の皆さんが若さあふれる力で積み上がった雪をあっという間に片付けました。住宅周辺の雪山が無くなり、高齢者も大変喜んでいました。



寿都高校生徒の皆さん

除雪ボランティアに参加いただいた皆さん、本当にお疲れ様でした。

大規模災害時等における連携に関する協定の締結

2月3日、南後志地区の島牧村、黒松内町、寿都町は、陸上自衛隊第28普通科連隊と「大規模災害時等における連携に関する協定」の締結式を行いました。



協定書の締結の様子

この協定は、南後志地区の町村において、地震・津波、風水害その他の大規模災害が発生又は発生のおそれがある場合に、情報を共有し、連携を強化することで災害派遣要請時の初動における救援活動を迅速かつ容易となることを目的としています。

協定の締結にあたり、片岡春雄町長は、「自衛隊と各町村の連携がさらに強化され、災害派遣による



救援活動が迅速、そして、円滑に行われることにより、住民の安全安心がより一層図られるものと期待しております。」と述べていました。

小学校一日体験入学

1月29日に寿都小学校、2月3日に潮路小学校において、1日体験入学が行われました。

今春に入学する園児は、少し緊張した面持ちで、先生や小学校の先輩の話を真剣に聞いていました。



潮路小学校の様子

寿都小学校の様子



寿都保育園節分

2月3日に、寿都保育園において豆まきが行われました。

寿都警察署署員による地域安全の紙芝居を聞いた後、突然登場した鬼に子どもたちはびっくりして逃げ回っていました。



また、なまはげに変装した寿都警察署署員が登場すると、「なまはげさんごめんなさい」と良い子でいることを誓っていました。

温泉・道の駅通信 No.24

あっという間に3月、待ち遠しかった春もうすぐですね。と言っても、まだまだ寒い日も続きます。新年度に向けて、体調管理に気を付けて頑張りましょう。

さて、ゆべつのゆでは、2月の土日祝日限定で、レストランやまもと特製のおしるこをフロントで販売しました。2月はグッと冷え込んだ日も多く、温かいおしるこは皆さんに大変喜ばれました。

みなとま〜れは、2月13日に行われた「はしごラリー」で、初めて参加店としてお酒の提供をしました。当日は、やはりドタバタしてしまいましたが、良い経験になりました。他の参加店の皆さん、お疲れさまでした。

新聞などでも紹介されましたが、札幌市立大学写真部SEEDと寿都写真倶楽部がそれぞれ撮影した写真集「受け継がれる風の記憶」を、みなとま〜れとゆべつのゆで販売を開始しました。市立大学写真部の皆さんは、昨年の寿都神社例大祭を、寿都写真倶楽部の皆さんは、寿都の風景や町民を収めた写真集となっています。昨年より販売している寿都神社例大祭記録写真集も引き続き取り扱っていますので、こちらもぜひ、お買い求めください。



写真集「受け継がれる風の記憶」

イベントスケジュール・お知らせ

●写真展示のお知らせ

ゆべつのゆでは、寿都写真倶楽部の西村なぎささんが町内の未就学児を対象に撮影した「寿都の宝写真展2」と「2015年寿都町成人式」の写真展を開催中です。

おどけた顔を見せる子どもや、カメラをジッと見つめる子ども、一方ではりりしい顔の新成人と、様々な表情を見ることができます。両方の写真を見ながら、新成人の皆さんが小さかった頃を思い出したり、ちびっ子たちが新成人のように大きく成長する姿を想像したり、といった見方も面白いかもしれませんね。



寿都の宝写真展2

また、みなとま〜れでは寿都写真倶楽部による「寿都冬の写真展」を海側出入口で開催中です。普段、皆さんが当たり前に見ている風景も、写真を通して見るとまた違った印象を受けるとと思います。どちらもぜひ、ご覧ください。



2015年寿都町成人式

寿都町観光交流センター「みなとま〜れ寿都」

住所：寿都町字大磯町29-1
電話：0136-62-2550
E-Mail：minatoma-re@rondo.ocn.ne.jp
開館時間：9:00～17:00
休館日：毎月第1月曜日

寿都温泉ゆべつのゆ

住所：寿都町字湯別町下湯別462-1
電話：0136-64-5211
開館時間：10:30～21:30
休館日：毎月第1月曜日

すくすく1歳です

2月生まれ



堀野 華ちゃん

(6日生まれ)

(矢追町) 研 司さん
明 さんの子

あなたの笑顔に家族は幸せを
いっぱいもらっています。
はなちゃん、1歳おめでとう♡

戸籍の窓口

人口 3,212人 (-9) 世帯数 1,741世帯 (-6)
男 1,580人 (-6) 女 1,632人 (-3)
(平成27年1月末現在住民基本台帳)

～こんにちは よろしくね～

磯谷町横潤 川地 優生くん(1/31) 純夫さん・さつきさんの子
歌棄町歌棄 石井 紗和ちゃん(2/4) 真介さん・亜希 さんの子

～ごめいふくを お祈りします～

矢 追 町 東野 輝夫さん(2/12) 91歳
湯別町下湯別 荒川ツヤ子さん(2/13) 79歳
樽岸町樽岸 飯田 信夫さん(2/18) 75歳

ご寄附ありがとうございました

西亦 作松 様(東京都)

寿都町字湯別町下湯別 4 4 6 番 1 の山林ほか 4 筆 28,799 m²

寿都地区プレジャーボート協議会 様(新栄町)

水産振興寄附金 30,000円

消防団員の異動

●任用(平成27年2月1日付け)
寿都分団第1部団員 前野 修緒

広報2月号のまちの出来事&
お知らせ内の「放課後児童クラ
ブ利用申し込み」の記事におい
て、対象児童を「小学校低学
年」としていましたが、対象児
童を拡大し、「小学校就学児童」
と変更しましたのでお知らせし
ます。

変更のお知らせ

4月から大型ごみの収集が始まります！

大型ごみは、毎年4月から12月まで年9回収集します。
収集を希望する方は、**収集日の1週間前まで**に、町民課衛生係へ申込
みください。

申込みのあった世帯に、直接回収に伺いますので、ごみステーション
には出さないでください。また、指定シールには、住所・氏名を記入し、
見えやすい所にははがれないよう貼ってください。

(はがれそうな時は、テープなどを使い、留める工夫をお願いします。)

●大型ごみ収集日程

収 集 地 区	収 集 日
政泊・矢追・大磯	第1月曜日午後
開進・岩崎	第2月曜日午後
新栄・渡島	第3月曜日午後
六条・樽岸・湯別・歌棄・磯谷	第4月曜日午後

【町民課衛生係 0136-62-2523】

ふる里文芸

短 歌

冬空に連なる山脈狩場山

母衣月山も静かにねむる 佐藤 峯子

かるがると肩まで跳びしゴム飛びの

あの身軽さが今でも不思議 原田た江子

年齢重ね月日の流れに戸惑いつ

いまだ夢追ふ心忘れず 石橋 典子

故郷は冬將軍の訪れて

深き眠りに入らんとする 中村 昭風

久方の雪晴れなりし朝日差し

連山端山春さざし見ゆ 小西めぐみ

嫁ぎ日の写真は既にセピア色

長き道程語るが如し 亀谷 セツ

(老人クラブ短歌)

見渡せば墨絵のごとくかすむ山

春呼ぶ雪と空を仰ぎて 松沢 スミ

俳 句

瑞雲の流れゆるやか恵方かな

めでたさや父母より生きて屠蘇に酔う 林原 節子

クリスマス煙突がない僕ンチ

声聞けば百迄生きると初電話 佐藤 峯子

生き物のごと燃え盛る焚き火かな

道の駅匂いも旨し浜の鍋 石橋 典子

春立つや航跡流し今朝の風

老いに激とばして今朝も雪掻きぬ 中村 昭風

ラジオから早春賦や口ずさむ

(老人クラブ) 志田 妙子

孫の成人振り袖姿の乙女かな

言ひ分けを知りつつ口に寒の入り 小西めぐみ

南 慧子

松沢 スミ